

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

アンケート実施期間: 2023年12月
結果公表日: 2024年3月27日

事業所職員: 5名回答、回答率 100%
保護者様: 21名回答、回答率 95.2%

職員の意見

○環境・体制整備

- 子どもたちに導線が分かりやすい構造化を取り入れているため、生活しやすい環境になっている。
- 活動空間をわかりやすく区切っている。
- 職員体制は少人数で効率よく回しているが、実際はあと1-2名いても良い。
- 利用者の成長に合わせてテーブルを設置できると良い(高学年など身体が大きくなっているの)。

○業務改善

- ミーティングの時間をしっかりと確保できている。
- 業務前のミーティングでは情報共有に加えて、支援についての意見交換もしっかりとできている。
- 定期的に社内の研修に参加し、支援面での成長につなげている。

○適切な支援の提供

- 日々児童の特性などを把握して、児童の特性に合わせた療育活動の提供を行っている。
- 全職員が個別支援計画をしっかりと確認し、支援の内容を記録に残している。

○関係機関や保護者との連携

- 送迎時に学校の先生と細かく情報交換を行っている。
- 保護者と面談時や送迎時などに細かな情報提供を行い、児童の対応方法について一緒に考えている。

○保護者への説明責任等

- ニュースレターを毎月発行し、1か月の療育活動予定や前月の療育活動を報告している。
- 保護者に対し、送迎時やサービス提供記録にて相談等を受けた際、その内容に応じて面談や電話相談を行なっている。

○非常時等の対応

- 月に一回の避難訓練を行って、全曜日・全児童が参加できるようにしている。
- 定期的に虐待防止研修を行い、適切な支援が行えるよう職員で確認している。
- ヒヤリハットの作成件数が少ないので、今後は作成できるようにしていきたい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・体制について、95%の方に満足していると回答いただいたが、「以前に比べると職員数が少ない気がする」といったお声もあったので、職員体制については周知や改善につなげていきたい。
- ・環境について、「狭いとは思えないがもっと体を動かせるスペースが広いと嬉しい」とのお声があったので、物の配置や広いスペースの確保の工夫をしていく。

○適切な支援の提供

- ・こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか」に対し「はい」の回答が100%だった。
- ・放課後児童クラブとの交流について「あればいいなとは思うが、希望はしていない」「スマートキッズ他教室との交流などはあったらいいな」という意見をいただいたので、対応検討していきたい。

○保護者への説明等

- ・保護者の交流会を開催して欲しい、他の人の話を聞いたみたい等の意見をいただいた。
- ・「こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか」に対し「はい」の回答が100%であった。
- ・サービス計画表の説明はいつも丁寧にしてくださっているという意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・100%の保護者様から必要な避難、救出、その他の訓練が定期的に行われているとの回答をいただいた。

○満足度

- ・「楽しみに通わせてもらっていて、本人の成長にも繋がっていると感じます。」「季節のイベントや祝日の特別教室がとて楽しみのようです。」などのご意見をいただいた。
- ・「こどもは安心感をもって通所していますか」「事業所の支援に満足していますか」に対し「はい」の回答が100%であった。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・社内研修への参加にて専門性の強化
- ・ミーティング時間確保の継続
- ・保護者会の実施

○改善できた点・まだ残る課題

- ・常勤、非常勤ともに研修への参加することにより、知識の向上やスキルアップにつなげることができ、日々の支援に生かすことができた。
- ・ミーティング時間をしっかりと確保し、職員間で連携体制を維持できた。
- ・保護者会実施の時間確保が難しく、今後どのように実施すべきか検討が必要。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・通所を楽しみにしている児童が多く、利用日数を増やしたいなどの希望も多く満足度が高いことがわかった。
- ・それぞれが安全管理に意識を持っているため、事故なく日々安全に児童が通所出来ている。
- ・職員間で細やかな連携により、共通理解でずれのない支援につなげている。

○改善点

- ・年内に保護者会を開催することが出来なかった
- ・外出プログラムは実施できているが曜日や内容に偏りがあるため、今後は外出プログラムの見直しを行い、長期休みなども課外活動を増やしていく。
- ・児童の成長に合わせた環境整備などが必要。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・新しい活動プログラムの立案
- ・成長に合わせた環境整備（構造化）
- ・保護者会の開催

○1年間で取り組む具体策

- ・活動プログラムについて、職員間で月間の予定を検討し、新しいプログラムを全体で考えて実行する。
- ・利用者の体格やニーズに合わせた備品が用意できるよう、教室備品の見直し・再設置を行なう。
- ・保護者会の開催に向け、保護者に日程や時間などのアンケートを取り、会の開催方法、日時を検討し、多くの保護者が保護者会に参加できるよう取り組む。